

奈良県立美術館

プレスリリース／2025年2月21日



画像①伝雪舟 秋冬山水図屏風 室町時代・15-16世紀

コレクション展

新・古美術鑑賞

New Ways of Seeing Japanese Art

—いにしえを想いて愛せる未来かな

令和7(2025)年4月5日(土)–5月18日(日)

主催・会場 奈良県立美術館

古美術の新しい見方を体験する展覧会

本展の見どころ

1. 過去の人々の感性に触れる一驚きと共感の鑑賞体験

本展では、**屏風・掛軸・扇面・浮世絵**という日本文化の中で育まれた多様なかたちを持った絵画を取り上げ、過去の人々がどんな場面で、どのような気分で美術を鑑賞したか、各美術作品の背景にはどんな文化や社会があったのか、ということに想いを馳せながら古美術を鑑賞する体験を提供します。美術を通して、過去の人々の感性に触れ、驚いたり共感したりする体験によって得られた知識や視点・価値観は、わたしたちが生きていく中で、日々に豊かな彩りをもたらしてくれるのではないのでしょうか。

2. ギャラリー展示作家・荒井恵子氏とのコラボによる体験展示コーナー

第1章 屏風の展示室と1階の和室に、水墨画家/現代美術作家・荒井恵子氏の作品を展示します。そもそも、屏風や掛軸などの古美術は本来、美術館のガラスケースのような隔たりのない、和室などの生活空間で鑑賞するものでした。どちらのコーナーでも靴を脱いで畳の上にあがり、座って見上げたり、近づいたりして、作品を鑑賞していただけます。過去の人々の鑑賞方法を、身体を使って追体験できる展示コーナーになります。

3. 奈良ゆかりの歌人・榊原紘氏を迎える「令和の屏風歌会」など体験型ワークショップも充実

本展では、作品を見るだけでなく、より親しむために、鑑賞体験をアップデートするワークショップを企画しています。最も目玉となるのは、奈良ゆかりの歌人・榊原紘氏を講師としてお迎えする「令和の屏風歌会」の開催です。平安時代、屏風に描かれた絵を主題として和歌を詠む営みがあり、そこで詠まれた和歌を「屏風歌」と呼びました。屏風を題材に、現代の感性と言葉で、“令和の屏風歌”を詠む企画は、参加者にとって、過去の人々のところに接し、古美術を身近に感じる機会になると思われます。なお、会場には常設で短冊カードを設置し、歌会不参加の方も自由に歌を詠んでいただけます。

また、扇形の枠の中に、展示作品から切り抜いたモチーフをコラージュしてオリジナルの扇絵を作る常設のワークショップも開催します。これらのワークショップによって、新しい切り口で古美術に親しむきっかけを作ります。

出品件数 (予定)

75件 (うち33件展示替あり。前期：4/5-4/27、後期：4/29-5/18)

展示構成

はじめに一古美術から過去の人々とつながる

第1章 屏風—大きくて、折れ曲がる

第2章 掛軸—好きなところに、掛けられる

第3章 扇面—あおぐだけじゃない、特別なかたち

第4章 浮世絵—手元でみる美

▼展覧会の基本情報と来館案内

主催・会場	奈良県立美術館 〒630-8213 奈良県奈良市登大路町 10-6 TEL 0742-23-3968/FAX 0742-22-7032/テレフォンサービス 0742-23-1700 美術館公式ホームページ https://www.pref.nara.jp/11842.htm X (旧ツイッター) @ArtmuseumN Facebook @narakenmuseum Instagram nara_artmuseum
会期	令和7(2025)年4月5日(土)～5月18日(日) 一部作品については展示替をいたします。 [前期] 4月5日(土)～4月27日(日) [後期] 4月29日(火・祝)～5月18日(日)
協力・後援	協力：株式会社墨運堂、福西和紙本舗、藤田壘店、丸山表具、株式会社岩野平三郎製紙所、現代短歌社 後援(予定)：NHK奈良放送局、奈良テレビ放送、奈良新聞社、西日本旅客鉄道株式会社、近畿日本鉄道株式会社、奈良交通株式会社、公益社団法人奈良市観光協会、奈良県教育委員会
開館時間	9:00～17:00 (入館は 16:30 まで)
休館日	月曜日、5/7(水) ※5/5(月・祝)は開館
観覧料	一般＝400(300)円、大学生＝250(200)円 ※()内は団体料金(20名以上) ※小・中・高生及び18歳未満は無料 ※65歳以上は平日無料 ※身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳(アプリを含む)をお持ちの方と介助の方1名は無料
交通案内	近鉄奈良駅 1番出口から徒歩5分 JR奈良駅 東口バス乗り場より奈良交通バス 「県庁前」下車

▼会期中の催し

会期中の催し (当館主催事業)	<p>◆ワークショップ「令和の屏風歌会」 講師：榊原紘氏 [歌人] 日時：①4月19日(土) 14:00～ 展覧会鑑賞ツアー・作歌レクチャー ②5月3日(土・祝)14:00～ 歌会(短歌鑑賞会) ※①②でひとつのワークショップです。両日参加できる方のみお申し込みください。 会場：1F レクチャールーム/展示室 (定員 15名・事前申込制・先着順)</p> <p>◆美術講座「日本美術の鑑賞史一室町・安土桃山時代を中心に」 講師：村上かれん [当館学芸員] 日時：4月26日(土) 14:00～15:00 (開場 13:30) 会場：1F レクチャールーム (定員 60名・当日先着順)</p> <p>◆学芸員と巡る単眼鏡ツアー 日時：4月12日(土)・5月11日(日) 各回約 50分 ①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ 定員：各回 10名 (開始 30分前より整理券配布)</p> <p>◆常設ワークショップ 扇絵コラージュ 扇形の枠の中にモチーフを貼り合わせて自分だけの扇絵を作ろう！ 会場：ショップ脇フリースペース無料エリア</p>
--------------------	--

関連展示

【関連展示@ギャラリー】

「伝統文化の現在 荒井恵子 いろいろのいろ墨のいろ～奈良の100の墨をめぐって」
水墨画家/現代美術作家の荒井恵子は、墨運堂製の「百選墨」を使った作品制作をとおして墨による表現の可能性を追求しています。本展では、奈良の墨づくりの様々な現場を訪れ、その場で作られた墨を使って制作した作品を紹介します。この展示をとおして「伝統文化の現在」を体感し、奈良の風土や文化に想いを馳せていただけると幸いです。

会場：当館 1F ギャラリー 入場無料

内覧会

下記の日程で、関係者・プレス向けの内覧会を開催いたします。

参加ご希望の方は、当日当館までお越しください。

4月4日(金) 14:00～

(14:15～開会式 14:30～担当学芸員によるギャラリー・トーク)

取材のご依頼

広報に関するお問い合わせ

奈良県立美術館（展覧会企画担当：学芸員 村上かれん）

〒630-8213 奈良市登大路町 10-6

TEL：0742-23-3968 FAX：0742-22-7032

E-mail：narakenbipress@office.pref.nara.lg.jp

広報用画像リスト

◇展覧会広報用に下記の画像を用意しております。ご希望の画像の番号（1～5）をお知らせください。

◇必ず下記の**キャプション**および備考欄の**展示期間**もご掲載ください。

ただし、ルビ（ふりがな）を付けるかどうかと制作年代の掲載は各メディアの判断に委ねます。

◇掲載にあたり作品部分のトリミング、文字載せはご遠慮ください。

No.	画像	キャプション	備考
1		伝雪舟 しゅうとうさんすいびょうぶ 秋冬山水図屏風 室町時代・15-16世紀	
2		よしむらこうけい 吉村孝敬 じゅうにかげつかちょうずびょうぶ きせき 十二ヶ月花鳥図屏風 左隻 江戸時代・天保四年(1833)	
3		うきたいっけい 伝浮田一憲 きのつらゆきぞう 紀貫之像 江戸時代・19世紀	
4		くしのぶいん 州信印 さんせいすせんめん 三聖図扇面 安土桃山時代・16世紀	
5		うたがわくによし 歌川国芳画 人かたまって人になる 江戸時代・19世紀	前期展示：4/5-4/27